

## 音と光で包まれた舞台上で繰り広げられる、現代いけばなの最高峰 北海道初開催 草月流「いけばなLIVE」 2009年6月21日(日) 札幌市 サッポロファクトリーホール

いけばな草月流(本部:東京都港区赤坂)は、札幌市・サッポロファクトリーホールにて、草月流第四代家元・勅使河原茜による「家元いけばなLIVE IN 北海道」を開催いたします。勅使河原は、昨年のG8北海道洞爺湖サミットや、今年4月に行われた2016年夏季五輪招致のIOC(国際オリンピック評価委員会)のメンバーをもてなす首相主催の公式夕食会でいけばなパフォーマンスを行い、高い評価を受けました。この度は「いけばなLIVE」という新しいかたちをとって、さらにダイナミックにいけばなパフォーマンスを展開します。

### ■いけばなの“いま”を伝える、「いけばなLIVE」

いけばなは、完成した作品を鑑賞するだけのものではありません。植物素材が人の手によって変化し、いけばなが形作られていく<sup>\*</sup>、こうしたパフォーマンスを楽しんでもらうのもいけばなの醍醐味の一つです。この度の「いけばなLIVE」は、このデモンストレーションに、音と光、舞台美術の要素を加え、いけばなを総合芸術として位置づける新しい試みです。「いけばなLIVE」を通じて、草月流いけばなの最先端をお感じいただき、ひとりでも多くの方にいけばなの魅力を発見していただければ幸いです。

※草月流では、観客の目の前で制作過程を展開するいけばなを「いけばなデモンストレーション」と呼んでいます。



【舞台いっぱいに展開したアーティスティックな大作】



【舞台上で小作をいける家元・勅使河原茜】  
～写真2点とも2009年2月「家元いけばなLIVE IN 鹿児島」より～

### ■「家元いけばなLIVE IN 北海道」の特徴

LIVE会場となるサッポロファクトリーホールは、劇場形式のホールではないフラットな空間です。そこで、仮設舞台はじめ全てをゼロから制作し、この空間ならではの他では実現不可能なプログラムを展開します。前半は発電所美術館(富山)など様々な空間を探して挑み続けている草月流本部講師・岡崎忍が担当し、空間を十分にいかした、いけばなの概念を超える展開となっています。後半は音楽家の木並和彦氏のコンピュータによるエレクトロニカとピアノ生演奏を融合させた音楽のもと、家元・勅使河原茜があえて“いけばな”にこだわり、空間に挑みます。具体的には会場内にメインステージの他、5つの仮設ステージを設置し、これらのステージを移動しながら、会場の皆さんからテーマを頂き制作するなど即興性溢れる展開となっております。小品から、大作まで全てのいけばな制作過程もご覧に入れます。

このリリースに関するお問い合わせや取材などについては下記までご連絡ください。

財団法人草月会 広報担当デスク 株式会社コミュニケーションデザイン

担当:佐野洋平/sano@cd-j.net 山田成海/yamada@cd-j.net

TEL:03-5545-1661/FAX:03-5545-1662

## ■家元いけばなLIVE IN 北海道 開催概要

【名称】 家元いけばなLIVE－花は心 草月の原点から今へ  
【開催日時】 2009年6月21日(日)  
【開催時間】 13:00～15:45(12:00開場)  
【イベント会場】 札幌市 サッポロファクトリーホール  
〒060-0032 札幌市中央区北2条東3丁目  
【出演】 勅使河原茜(草月流家元)・岡崎忍(草月流本部講師)  
【主催】 財団法人 草月会  
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21

### 【主演者・プロフィール】

#### ●勅使河原茜(てしがはら あかね)

草月流第四家元

1960年生まれ。

「花のピカソ」とよばれた草月流の創始者・蒼風を祖父に、映画監督としても知られる三代家元・宏を父に持ち、自由で創造的な空気を全身で感じながら育つ。幼児教育を学んだ後、4年間の幼稚園教諭の経験をへて、いけばなの道へ。2001年四代家元を継承。

「いけばなは瞬間の出会い。だからこそ、その時その空間に生まれるおもいを大切にしたい」と、みずみずしく大胆な作品を国内外のさまざまな場で発表するかたわら、大好きな子どもたちのためのいけばな教室「茜ジュニアクラス」を開講し、いけばなによる心の教育に力を注ぐ。また、植物から得たインスピレーションを形にしたジュエリーデザイン、能、バレエ、書などの異分野アーティストとコラボレーションを行うなど、独自の世界を築いている。



#### ●岡崎忍(おかざきしのぶ)

草月流本部講師

1954年生まれ。

1976年草月流に入門し、第二代家元・勅使河原霞のもとでいけばなを学び始める。1980年武蔵野美術大学大学院デザイン科卒業後、草月工房に入社。第三代家元・勅使河原宏の制作アシスタントを務めながら、いけばなの経験を積む。1999年草月創流70周年記念作品賞受賞。現在は地元・富山を拠点として活動をしている。空間全体を植物素材で構成することを得意とし、舞踏の舞台美術、陶やガラス作家とのコラボレーションなど創作の幅は広い。草月流の「いつも新しく、いつも美しく」をモットーに、花の匂、一番きれいに咲く花の瞬間の美しさをいけばなで展開している。

#### ●木並和彦(きなみかずひこ)

作曲家・プロデューサー

1966年、岐阜県生まれ。

幼少の頃よりピアノに触れ、後にピアノを高瀬アキに、作曲を佐藤展生に師事。現在は電子音楽を基盤に雅楽、能楽、新内、長唄、神楽など伝統音楽との融合を図った現代曲や公演を手掛ける傍ら、舞台・映画・イベント・CMなどにも精力的に音楽を提供する。家元・勅使河原茜と、「いけばなインターナショナル」、2007年個展「私の花」、伊豆修善寺・あさば旅館能舞台でのデモンストレーション「浮遊花～薄闇に溶ける、花と音～」、「家元いけばな LIVE」などの場内音楽を制作する。また「音づれ(訪れ)」と題したワークショップを小・中・高等学校で行う。ジャンルを越え、ゆっくりと波紋を広げるような浮遊する空間音楽には定評がある。主なCD作品に「statics」(cci recordings)、「Disney Age @ D100 Cafe」(avex inc)など。

### ■団体概要

【社名】 財団法人草月会

【代表】 理事長 勅使河原茜(草月流家元)

【所在地】 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21

【事業内容】 いけばな教室や展覧会の開催を通していけばなの普及を行う。  
いけばな指導の有資格者が加入する「草月指導者連盟」の管理及び運営。

このリリースに関するお問い合わせや取材などについては下記までご連絡ください。

財団法人草月会 広報担当デスク 株式会社コミュニケーションデザイン

担当:佐野洋平/sano@cd-j.net 山田成海/yamada@cd-j.net

TEL:03-5545-1661/FAX:03-5545-1662